

多職種連携で
認知症ケアの質を高めよう！

受講対象は
すべての介護付きホームの職員



認知症ケア研修

認知症ケアの対応力強化 ～多職種連携によるケアのポイント～



介護付きホームで認知症のご入居者と関わるすべての職員を対象に、認知症に伴う行動・心理症状（BPSD）の要因を探り、多職種連携でうまくいくケアのポイントや具体的な対策方法について、学んでいただきます。

{ プログラム }

1. 講義
2. グループディスカッション
3. まとめ

{ 参加の準備 }

- ◆ 使用される端末でのZoomの使い方などは、参加者ご自身で、事前に確認をお願いします。
- ◆ 参加者の顔が見える「ビデオの開始（オンの状態）」で開催します。カメラ、音声の出入力（イヤホンやマイク）の機能がある端末からご参加ください。

{ 申込諸注意 }

- ◆ 介木協ホームページから必要事項を入力してお申し込みください。
- ◆ 申込後、「受付確認メール」の受信を必ずご確認ください。受信されていない場合は、申し込みが最後まで正しく完了していません。

講師 **伊東 美緒**

群馬大学大学院保健学研究科 老年看護学 准教授
専門分野：老年医学、認知症ケア

日時 2022年12月21日（月） 16:30～18:30（時間厳守）

定員 50名 ※1人1端末（PC/タブレット等）からの参加が原則

対象 介護付きホームの介護職員、看護職員、その他専門職、管理者等

締切 2022年12月16日（金）

受講料 正会員/無料 非会員/5,000円（1ホーム）

申込 <https://www.kaigotsuki-home.or.jp/schedule/2022/346>



介木協

検索

一般社団法人
全国介護付きホーム協会